# 北部家畜保健衛生所管内で
# 牛流行性感冒の予防注射を開始

萩農林事務所畜産部
平成22年4月16日

牛の流行性感冒（イバラキ病、牛流行熱）は、蚊やヌカカなどの吸血昆虫により媒介される牛のウイルス性の伝染病で、呼吸器系や運動器系の異常、嚥下障害などをおこし、畜産農家に大きな被害をもたらします。

北部家畜保健衛生所では、本病を予防するため4月6日から２ヶ月間かけて畜産農家を巡回し、約800頭を対象にワクチン接種を実施する予定です。

当所は、畜産農家、関係機関と連携を図り、家畜伝染病の発生を防ぐこととしています。

消毒して…

ぶすっ